

「イノベーション探究Ⅱ」～グローバル・ジャスティスプログラム～ 第14回

1. 実施日

令和4年12月10日（土）1、2限

2. 場所

多目的教室

3. 対象

グローバル科2年生（6・7組）

4. 講師

鳥羽高等学校 教諭 山中脩平 三嶋千代子 藤原久美子 中村啓介

5. 内容

探究の調査が終わっていないチーム、冬季休業中に調査に行く予定のチームは実施計画を立てる。探究が終わっているチームは研究費の精算が終わり次第、研究ノート of 執筆を進める。

6. 学び

これまでの調査活動は、校内でのアンケートやインターネットを用いた検索が多かった。しかし、冬季休業に向けて、校外に調査に出かける計画を立てるようになった。外部の方との連絡、アポイントメントの取り方など学校外の文脈の大人と関係を持つとするとそこに学びがあると考えられる。

7. 次回への課題

3学期は、研究ノートを執筆開始できるように調査は一区切りさせるようにする。研究ノートの書き方を支援する教材を作成し、次回に配布する。

8. 本時の振り返り

探究チーム毎に熱心に調査計画を立てることができていた。外部と連絡を取るにあたって基本的なメールの書き方や、電話の受け答えを指導したが、これらのことが学べる機会として探究活動は有益なものだと思った。万が一失礼があったときは、謝りにいくから大丈夫と学習者が安心する声かけも大切である。